

南高Information

御殿場市防災対策室とのコラボレーションによる防災学習を実施

5月23日の授業(2年生:地学)に御殿場市防災対策室の皆さんをお招きし、御殿場市の防災対策についてお話を伺いました。これは、本校の美澤先生が企画した防災教育に関する活動プログラムが、内閣府などが後援する**防災教育チャレンジプラン**に採用されたことを受け、授業の一環として身のまわりの防災対策を理解することを目的に計画・実施したものです。

当日は、防災対策室の平野さんに、御殿場市が作成した資料を基に、市内の想定被害状況や防災施設などについて詳しい説明をしていただきました。

… 参加者の感想 …

「実際に地震が起きてからどうすればよいのかとても細かく知ることができて、参考になった。」「とてもいい話を聞いたので、家族に伝えて家の防災対策をしっかりとりたい。」など



防災教育プログラム

自然災害に対する行動力を持った
高校生の育成を目指して

対象 2年文系地学選択者

目的及び期待される成果

- ・東海地震や富士山について知り、生き抜く力を身につけ、自ら行動できる高校生を育成する。
- ・自然現象のメカニズムを理解し、自然環境及び防災に対する認識や行動力を持つ。
- ・学んだことを地域に発信し、地域の方々や行政、専門家と共有する。
- ・「人と自然との共生」「人と人との共生」の観点をもち、視野を広める。

学習プログラムの内容

地域に根ざした学習プログラムを作成・実践する

- ・過去の自然災害を知る(行政資料や災害関連のビデオ教材を利用する)
- ・自然現象のメカニズムを理解する(専門家による実習、実験・実習の開発)

自然環境及び防災に対する認識や行動力を持つ高校生の育成する

- ・地域で想定される災害とその対策方法を学び、高校生にできることを実践する。
(地震防災マップ作成、DIGやハザードマップの読み取りなど専門家による指導)

高校生が学んだことを地域に発信し、地域の方々や行政、専門家と共有する

- ・地域の方々と地震防災コミュニティマップを作成する。
- ・高校と地域、行政、専門機関の連携による防災講座を開講する。

この学習プログラムは、2007年度防災教育チャレンジプラン(全国で15団体)に選ばれました。

防災教育チャレンジプランとは、全国の地域や学校で防災教育を推進するためのプランです。(主催:防災教育チャレンジプラン委員会、後援:内閣府、総務省消防庁、文部科学省など)